

千葉市美術館
CHIBA CITY MUSEUM OF ART
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
TEL.043-221-2311(代) http://www.ccmo-net.jp

2014
7.8(火)から
8.31(日)まで
前期 7.8(火)から8.3(日)まで 後期 8.5(火)から8.31(日)まで

鈴木春信
江戸へようこそ!

浮世絵に
描かれた
子どもたち

歌川国芳

歌川心重

歌川国貞

歌川国貞

歌川国貞

開館時間: 10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は開館の30分前まで 休館日: 8月4日(月)
観覧料: 一般 800(640)円、大学生 560(450)円 ※小・中学生、高校生、大学生、障害者手帳をお持ちの方との介護者1名は無料
※()内は前売り、団体20名以上、市内に在住の65歳以上の市民の料金 ※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ
(6月29日まで)、およびローソンチケット(Lコード:35731)、セブンイレブン(セブコード:031-042)にて販売。
千葉市モノレー「千葉みなと駅」千葉駅「新大塚」千葉駅「新大塚」千葉駅「新大塚」の窓口(8月31日まで)にて販売。

☆親子割引: 一般500円(高校生以下のお子様と一緒にご来館の保護者2名まで)
☆こひいき割引: 本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回以降の観覧料2割引
主催: 千葉市美術館、東京新聞 特別協力: 公文教育研究会 企画協力: マンゴスティン



浮世絵に 描かれた 子どもたち

浮世絵には、子どもをめぐる江戸文化のあり方を伝えてくれる作品が少なくありません。美人画、役者絵、風景画を代表的な主題として認識することの多い浮世絵ですが、子どもを題材とした作品もまた重要な分野で

あり、大きな需要があったことは特筆すべきでしょう。親は子を宝として守り育て、ふれあいを大切に、心づくしの玩具や屋内外での遊びの機会を与えました。



一方で、寺子屋での学習や諸芸の稽古事にも熱心で、江戸の子どもたちは十分な教育を受けていたのです。注目すべきことは、これらの子どもを巡る光景がありきたりの日常であったにも関わらず、絵の主題となり、それを購買する人が多くいたという点です。

幕末・明治期に来日した多くの外国人が、日本の子どもが非常に大切にされ、幸福そうにしていることを印象深く書き残し、日本を「子どものパラダイス」とさえ評しています。子どもたちを無条件に愛し、守るべき愛らしい存在として描いてきた浮世絵は、美術的価値ばかりでなく、親が子どもを守り育てる本来のあり方を示してくれているようでもあります。本展覧会では、

- I 子どもへの愛情、II 子どもの成長を願う、III 江戸は教育熱心、IV 遊び好き・いたづら好き、V キッズ大行進一やつし絵・見立絵一、VI 子どもの好きなお話、という6つのコーナーに分け、公文教育研究会所蔵の子ども浮世絵コレクションを中心に約300点を展示します。

※会期中に大幅な展示替があります。
前期:7月8日(火)~8月3日(日)/後期:8月5日(火)~8月31日(日)

本展覧会は、子ども支援を目的とした国際キワニスの大会「Tokyo Chiba Kiwanis Convention 2014」の開催を歓迎します。7月8日(火)~7月21日(月・祝)には、7階展示室で、所蔵作品によるキワニス来葉記念特別展示をいたします。



1



2



3

1_鈴木春信「夏姿 母と子」明和4-5年(1767-68)頃(前期展示) / 2_勝川春章「正一位三田稻荷大明神」天明期(1781-89)(後期展示) / 3_歌川国芳「幼童席書会」弘化期(1844-47)頃(後期展示) / 表面_一英斎艶長「新仕立かざぐるま」文久・元治期(1861-65)(前期展示) / 菊川英山「子供遊七福神」のうち文化8年(1811)(後期展示) すべて公文教育研究会蔵

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代) Fax.043-221-2316 <http://www.ccma-net.jp>



【交通案内】

- JR千葉駅東口より/徒歩約15分/バスのりば7より大病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- 東京方面から車で京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

*千葉市中央区役所と同じ建物です。
*地下に区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関のご来館をお願いします。



【関連企画】

■ 講演会「浮世絵師たちの“子ども絵”腕くらべ一歌麿・広重・国芳を中心に」

7月19日(土)14:00~(13:30開場) 11階講堂にて
講師:中城正典(江戸子ども文化研究会主宰・国際浮世絵学会理事)
*先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) 聴講無料

■ 講演会「折りをまとうーアジアの服飾に見る子どもの成長祈願」

8月9日(土)14:00~(13:30開場) 11階講堂にて
講師:吉村紅花(文化学園服飾博物館 学芸員)
*先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) 聴講無料

■ さや堂de音楽会「童心憧憬」

7月27日(日)14:00~15:00 1階さや堂ホールにて
出演:関根彰良(ギター)、ゲスト:黒沢綾(ヴォーカル)
*子守唄、ジャズなどから、子どもを歌う曲、子どもに着想を得た曲をお送りします。
*先着150名(当日12:00より1階さや堂ホール入口にて整理券配布) 参加無料

■ 折り変わり絵コンテスト

江戸の紙遊び「折り変わり絵」の作品を募集します。優秀作品は複写の後、8月17日(日)「美術館で緑日!!」(下記参照)で、来館者が遊べるよう展示します。
*応募締め切り:8月8日(金)美術館必着
*作品例と応募条件の詳細は美術館ホームページをご覧ください。

■ 特別企画「美術館で緑日!!」

8月17日(日)13:00~17:00 1階さや堂ホールにて
「千葉の親子三代夏祭り」「例祭 妙見大祭」に湧く千葉の休日、花輪茶之介さんによる館細工の実演ほか、様々なお楽しみブースをご用意します。大人も子どもも緑日気分をお楽しみください。
*会場の入出りは自由です。
参加・協力団体:千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉市科学館、美術館ボランティアほか

■ 「中学生のためのギャラリークルーズ'14」

7月25日(金)、26日(土) 10:00~15:00
随時受付(所要時間30分程度)
子どもだけの来館と鑑賞を美術館ボランティアスタッフがサポートします。一人でもグループでも参加可。夏休みの宿題(展覧会鑑賞)にも対応できます。参加希望の方は直接8階受付へお越しください。
*参加無料

■ ギャリートーク

担当学芸員による:7月9日(水)14:00~ボランティアスタッフによる:会期中の毎週水曜日(7月9日を除く)
*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
*混雑時は中止する場合があります。

■ 市民美術講座「江戸の子どもと浮世絵」

7月26日(土)14:00~ 11階講堂にて
講師:田辺昌子(当館学芸課長)
*先着150名 聴講無料

【同時開催】

所蔵作品展「スモールワールド」

※「江戸へようこそ! 浮世絵に描かれた子どもたち」展をご観覧の方は無料

関連企画

■ 市民美術講座「所蔵作品選 小さなたちの宇宙」

8月23日(土)14:00~ 11階講堂にて
講師:松尾知子(当館学芸係長)
*先着150名 聴講無料

【次回展予告】

かぶらききよかた
「錦木清方と江戸の風情」
会期:9月9日(火)~10月19日(日)

